

ほう素、ふっ素に係る暫定排水基準の見直しに関するヒアリングシート

団体名	全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会	
担当者（連絡先）	清澤 正人	
会員企業数	会員 47都道府県 組合員数 15,000事業所	
	旅館営業許可件数38,622社（カバー率 39%）	
<p>1. 温泉排水のほう素、ふっ素濃度低減のために、平成28年7月からの3年間の取組内容及び結果等を記述してください。</p> <p>※必要に応じて、参考になる資料を添付してください。</p> <p>※直近3年程度の排水濃度の推移を示すグラフがあれば添付して下さい。</p> <p>暫定基準値の延長等については、定期的に全旅連広報誌等で周知。毎年開催する47都道府県事務担当者会議において、説明を行っております。</p>		
2. 平成31年7月の暫定排水基準見直しに対する要望をお伺いします。		
暫定排水基準適用項目	現状暫定排水基準	要望暫定排水基準
ほう素及びその化合物	500(mg/L)	500 (mg/L)
ふっ素及びその化合物 (S49.12.1以前に湧出していなかった温泉を利用し、排水量50m ³ /日以上)	15(mg/L)	15 (mg/L)
ふっ素及びその化合物 (自然湧出以外のもの（上記を除く）)	30(mg/L)	30 (mg/L)
ふっ素及びその化合物 (自然湧出のもの（上記を除く）)	50(mg/L)	50 (mg/L)
<p>暫定排水基準を要望する理由・年数</p> <p style="text-align: right;">【ほう素： 年】</p> <p style="text-align: right;">【ふっ素： 年】</p> <p>当連合会の組合員の多くは、中小零細企業が多く改正耐震促進法による耐震診断及び耐震工事や昨年の熊本地震をはじめとする今年の西日本豪雨・台風21号・北海道胆振東部地震等全国的に政府では観光振興施策を講じていただいておりますが、まだまだ被災地及び周辺の観光地は経営環境が厳しい状態であります。</p> <p>訪日外国人客の増加に伴い一部都市部では好調ですが、民泊いわゆる住宅を活用した宿泊施設への利用者が多くなっております。国内旅行に関しますと需要がここ数年間落ち込んでおり、全般的に経営環境は、厳しい状況になっております。</p> <p>施設改修等の新たな資金の融資を受けることすら厳しい状況下であります。ふっ素・ほう素の除去装置・毎月のランニングコストについては、中小零細企業でも設置することが可能な低廉で省スペースに対応した処理装置の開発を是非とも官民一体で開発され、暫定排水基準につきましては、中小零細企業に対して低廉な除去装置が開発されるまでの間、現行暫定基準をお願いします。</p>		

関係事業場数（一般排水基準を達成できない事業場数）

基準値を達成できていない事業所が組合員16,000件のうちどの程度あるのかという把握はできておりません。本件を実施するうえでは、関係行政庁や地方公共団体のご協力を得ながら取り組んでまいりたいと思います。

3. ほう素、ふっ素の排水処理技術を導入している例（事業場）をご存じでしたら、その取組について可能な範囲でお聞かせ下さい。また、排水処理技術の導入以外の排水濃度低減方策の導入可能性や方針等について、貴団体としての取り組みや御意見がありましたらお聞かせください。

一つには、条件が合えば希釈して排水することも考えられます。また、各事業所が排水した温泉水を一箇所にまとめてほう素・ふっ素等を除去することも考えられますが、各事業所からの温泉排水を送る専用水路には新たな資金が必要となります。専門家の先生方のご協力を頂き衛生上問題のない除去装置以外の方策もご指導をお願いします。

4. 平成31年7月以降における取組について

① 貴団体の取組計画についてお聞かせください。

各種会合において、ほう素・ふっ素濃度の低減が求められている要請等について啓蒙活動に努めると共に積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

② 今後の改善策及び一律排水基準達成の見込みについての見解をお聞かせください。

排水基準の達成には是非取り組んでいかなければならないと考えております。しかしながら、中小零細企業が多く設備投資に係る資金調達ができるまでの間、現状の暫定排水基準をお願いしたい。その間、数値が悪化しないよう自主測定や温泉水の循環等に努めてまいります。

5. その他御意見等ありましたら、ご自由に記載下さい。

専門家の先生方のご指導により、官民一体となり、除去装置の低廉な開発をお願いします。